

# 2024活動報告

特定非営利活動法人

地域子育てネットすくさぽ



# 代表あいさつ

特定非営利活動法人  
地域子育てネットすくさぼ 大澤 浩介

令和6年は元日の能登半島地震、羽田空港の事故という多難な幕開けとなりました。ロシアによるウクライナ侵略はいまだに続いており、中東諸国の紛争やアメリカのトランプ大統領再選など世界情勢も混迷を極めています。そんな中、日本では昨年10月の衆議院議員選挙において自公政権が過半数を割り込み、先行きが不透明なムードが漂っています。私たちはこれまで以上に、「どのような地域（国）で生きていきたいか」「何を未来に残していくか」を真剣に考えていかなければなりません。

そんな中、私たちは「すくサポート事業」という新たな取り組みをスタートさせました。年々増える不登校の生徒たち。自分が住んでいる町には不登校支援制度があまり無いので引越したというお話を聞き、とても切ない気持ちになったのを覚えています。すくサポート事業は、これまでのオンライン学習支援で得たノウハウに加えて、すくさぼスタッフが現地に伺いコミュニティづくりのお手伝いをさせて頂こうという、「社会資源をシェア」するプロジェクトです。まずは帯広市と清水町で試験的にスタートさせ、じっくり1年かけて土台作りをしてきました。そして、このプロジェクトを十勝はもちろん、全道に広げていこうと考えているところです。

令和7年度のすくさぼは、大きな変革期に入ります。これまでの活動を踏まえ、より未来に希望が持てる組織づくりをすすめるとともに、地域のみなさまに喜んでいただける活動を広げてまいります。みなさま、どうぞよろしくお願い致します。



## 地域子育てネットすくさぼのあゆみ

私たちはこれまで勉強が苦手な子へ、学習面からサポートする活動をしてきました。

そして、学習面はもちろんのこと不登校や発達障害など、子ども達が直面する様々な困りごとと向き合ってきました。

子ども達を取り巻く問題は一人で解決できるものではありません。

地域の力を持ち寄って「みんなで」解決していきたい。そんな思いを強くし、

私たちは「地域子育てネットすくさぼ」を法人化しました。

- 2014年 ○ 帯広市立柏小学校内にて学習支援「柏っ子教室」スタート
- 2017年 ○ 活動場所を帯広東コミセンに移転し、高校生を指導に加える
- 2020年 ○ オンライン学習支援・収穫祭などの地域交流事業スタート  
※活動場所を「市民活動プラザ六中」に移転
- 2021年 ○ NPO法人格を取得「特定非営利活動法人 地域子育てネットすくさぼ」となる
- 2022年 ○ 十勝子どもの居場所・学びネットワーク協議会『輪〜む』を設立  
放課後等デイサービス事業「みんなの居場所ひので」を開設
- 2023年 ○ 帯広市教育委員会 オンライン不登校支援事業「ひろびろチョイス」の事業委託を受ける  
十勝放課後等デイサービスネットワーク (TDN) を設立
- 2024年 ○ すくサポート事業スタート (帯広・清水)

# VISION

## 目指す社会

### 子どもの学びを囲む、多世代交流がある地域社会

近年、日本では少子化に歯止めがかからない状況になっています。民間試算によると2023年の日本人の出生数は70万人台前半と8年連続で過去最少を更新する見通しです。近い将来、今ある地域の形は維持できなくなる事は間違いありません。すくさぼの活動は、下は小学生から上は70歳前後の方も参加してくれています。私たちの思い描く地域社会の未来は、子ども達を真ん中に置いた、様々な人達が集える温かい地域社会です。

# MISSION

## すくさぼがなすべきこと

### すべての子ども達に学びの機会を拡げます

同じ日本に暮らしている子たちでも、学びの機会は人によって全く異なります。経済的事情や不登校により学びの機会を制限されているケースはもちろん、住んでいる地域で社会的資源に差があり学びの機会が少なくなることもあります。すくさぼでは地域の方の協力を頂きながら無料で参加できる「対面学習」の場づくりや、「すくさぼオンライン」で不登校の子達が、学校の空き教室や近隣の公共施設（場合によっては自宅）でも学べる環境を拡げています。

### ロゴに込めた想い

ここで育った子ども達が将来、誰かを照らす太陽のような存在になってくれる希望を込めました。植物のような形は発芽と成長を表しています。文字の茶色は人が育つ大地をイメージした色。日本の食料基地であり、おいしい作物を育む十勝の肥沃な大地にもその様子を重ねています。英語のルビの両脇には知識をイメージした本を配置し、学びへのサポートを表現しています。



一般社団法人NORTH Re DESIGN 代表理事 福島 智大

# MESSAGE

## すくさぼ理事 脇 真治



すくさぼスタッフとして大澤代表のもとで働いている理事の脇真治です。先日、「働く」の語源を調べたところ、傍（はた）を楽にすること、つまり、側にいる人や第三者を快く安らかにすること、とありました。法人理念に則して、自分を介して人を繋ぐ・明るく挨拶をする・相手がどう思うか考える・サービスの向上を常に心がける等、日々学んでいます。帯広市と清水町で理科実験イベントを開いて下さったNPO法人教育支援協会北海道様、音楽イベントを催していただいたピオラ奏者のエッシー朋子さん、学習支援や収穫祭でのボランティアスタッフ（高校生+大人）の皆様、ご寄付いただいた多くの皆様、大切なお子様をすくさぼに任せていただいている保護者の皆様、各自治体の教育委員会の皆様ほか、多くの方々に感謝いたします。今後ともすくさぼをよろしくお願い致します。

### 寄付で応援

学習支援を無料で提供するためには、多くのお金がかかります。1年でも長く継続出来るように皆さんに支えて頂けるとありがたいです。みなさんのご寄付は下記のようなものに使わせて頂きます。

- ・学習支援会場代
- ・オンライン通信費
- ・生徒やボランティアさんの保険代
- ・生徒/ボランティア募集広告（3万枚ほど印刷）
- ・プリント印刷代 ・教科書/問題集代
- ・イベント開催費用 など

### ボランティアに参加

地域子育てネットすくさぼの活動はたくさんのボランティアの方の参加で成り立っています。

- ・学習支援（先生/サポートスタッフ）
- ・すくサポートスタッフ（居場所）
- ・地域先生（体験の先生）



すくさぼへの寄付はこちら



ボランティアの申し込みはこちら

※読み込まない方のQRを指でかくしてお使いください

特定非営利活動法人

地域子育てネットすくさぼ

〒080-0811 北海道帯広市東11条南9丁目1番地 市民活動プラザ六中3F

TEL 050-8884-1098 FAX 050-8884-1099

銀行

北洋銀行 帯広中央支店 普通 4705389  
特定非営利活動法人 地域子育てネットすくさぼ  
代表理事 大澤浩介

## わたしたちの取り組み

# 社長の本だな

第9弾

社長のご経験や、これまでの人生から得た気づきをお聞きすることで、社会貢献の精神を学ぶ企画です。途中「自分が幸せを感じることを全員で発表する場面があり、自分の気づきをアウトプットすることで、より豊かな時間を過ごすことができました。

「この世界をただ楽しむだけでいい」

「1日の積み重ねで人生はできている。うまく行かない日もあるけれど、人生をそう捉えて1日を過ごしていけば、将来見える景色はまったく違ってくる。小さな幸せを感じられる瞬間を積み重ねながら生きていってほしい」と、エールを送ってくださいました。あなたが幸せを感じる瞬間はどんな時ですか？



(株)内山企画会社 代表取締役 内山美華 氏



同日にはボランティアに参加する高校生ミーティングも開催され、学習支援の進め方について説明を行いました。自己紹介タイムでは、参加した理由について「教員を目指しているから」「昨年も参加して楽しかったから」「ボランティア証明書が欲しい！」という声も。和気あいあいとした雰囲気の中、一人ひとりの声を聞くことができました。

### これまでにご協力いただいた企業の皆様

- |                                    |                   |
|------------------------------------|-------------------|
| 第1弾 池田建設工業株式会社                     | 第6弾 三洋興熱株式会社      |
| 第2弾 ソーゴー印刷株式会社<br>(株式会社クナウパブリッシング) | 第7弾 株式会社ぎゃくし      |
| 第3弾 株式会社ホーム創建                      | 第8弾 株式会社ネクストワン    |
| 第4弾 相互電業株式会社                       | 番外編 株式会社クレタ(北広島市) |
| 第5弾 株式会社千葉建設                       | 第9弾 株式会社内山企画会社    |

## わたしたちの取り組み

# 🌞 すくさぽオンライン

# 🌞 ひろびろチョイス



～ひろびろチョイスの空間～

令和5年から、帯広市で始まった新たな不登校支援の取り組み「ひろびろチョイス」。生徒はオンライン上で登校し、先生や他の生徒と交流したり、自分で学習したりもします。私たち「すくさぽ」もこの取り組みに参加しています（月曜日の「個別オンライン学習支援：すくさぽチョイス」「金曜日はメンター制度」）。最初は緊張気味の子も、慣れてくると毎週予約を入れて受講してくれるケースもあります。ひろびろチョイスではオンラインのみではなく、リアルでの交流も出来ます。12月には「森の交流館・十勝」にて、クリスマス会が行われました。次年度は行政と民間との連携など、課題をひとつひとつクリアできる様に取り組んでいきます。

～ひろびろチョイスクリスマス会～



## 先生紹介

### すくさぽオンライン講師 山口 真央さん

週1回のオンライン学習。少ないと思うかもしれませんが、その中でも子ども達は毎回素敵な成長を見せてくれます。九九ができるようになった、笑顔が増えた、計算が早くなった、話したいことが溢れてくる。そんな小さくて大きな子ども達の変化を画面越しながらも一緒に喜ぶことに幸せを感じながら日々取り組んでいます。



フリースクールで8年間勤務し、不登校支援や学習支援に従事。  
・児童デイサービスに勤務経験あり  
・NPO法人 地域子育てネット  
すくさぽで学習支援事業に参加。

● 精神保健福祉士

### 帯広市教育委員会 松本 好史様

ひろびろチョイスのコンセプト「Choice(選べる)」「Connect(つながる)」「Cheer(応援する)」の実現に向け、オンラインを活用した学習支援・伴走支援をはじめ、多様な学びの提供にお力添えいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。ひろびろチョイスは、帯広市の子ども達にとって大切な居場所となっています。今後も、子どもたちの健やかな成長を、ともに後押ししていただけるよう、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



# すくサポート 帯広・清水 試験運用始まる！



※2024年度 日本郵便年賀寄付金助成事業

日本郵便 年賀寄付金

**すくサポート 帯広イベント**  
— 理科実験教室 —

後援：帯広市教育委員会

9/30日 「光のふしぎ」	10/8日 「ドライアイスのふしぎ」	3/11日 「科学マジック」
------------------	-----------------------	-------------------

時間：10:00～12:00  
会場：市民活動プラザ六中3F  
参加費：無料  
参加対象：帯広市内の小中学校の不登校状態にある子  
※まずは、すくサポートにご相談ください。

【お問合せ】  
NPO法人地域子育てネットすくサポート  
050-8884-1098 (担当：大塚)

お申し込みはこちらから！

**COME 音! LET'S GO!**  
音楽は音もだちぞ

2024年11月 7日(休) 10:00～12:00  
2025年 2月27日(休)

会場：清水町文化センター2F  
参加費：無料  
参加対象：清水町内の小中学校の不登校状態にある子  
※まずは、清水町教育委員会にご相談ください。

【お問合せ】  
NPO法人地域子育てネットすくサポート  
050-8884-1098 (担当：大塚)

お申し込みはこちらから！

理科実験教室イベント

すくサポート音楽イベント

日本全国で不登校の小中学生数が34万人に登っています。私たちはすくさぽオンラインで、「別室登校の子」や「ひろびろチョイス（帯広市）」で学習支援を届ける活動を続けてきました。その中で「役に立てたかもしれない」と思えた事もありましたが、やはりオンラインだけではカバー出来ない部分を痛感する場面もしばしばありました。

また、近年地域の課題として大きくなっているのが人口減少です。十勝管内もその例外ではなく、2050年までに19市町村のうち14の町村が「インフラを維持する事が困難」になるとされる人口4000人を下回る見通しとなっています。社会的資源が少ない都市部から離れた遠隔地にある町村の子ども達に「住んでいる地域」で教育機会の格差が起こらない様にしていかなくてはなりません。私たちはこれまでの「すくさぽオンライン」で得た経験やノウハウと地域コミュニティづくりで十勝管内はもちろん、北海道全域に貢献していきたいと考えています。すくサポート事業による不登校支援は「オンライン学習支援」と「地域コミュニティづくり」を組み合わせたハイブリッド支援として、みなさんと育てて行きたい活動です。

## メッセージ

清水町教育委員会  
教育長 山下 勇様



すくさぽは子ども達の大切な学びの場・居場所であり、一人一人に寄り添ってくれる心のオアシスでもあります。講師やスタッフは子どもの興味関心を引き出し、学びに向かう気持ちに火をつけ、元気づける頼りになるサポーターであります。子どもと真摯に向き合い、愛情をもってつながり、指導・支援していただいていることに感謝しています。今後とも子どものよき理解者であり、心強い伴走者でてください。

清水町教育委員会  
佐々木 純子様



色々な理由で学校から足が遠のいたり、時々登校したりの皆さんへ。自分自分らしくあるために、時々、自分の力を確認する場合は必要だと思う今日この頃です。授業をしばらく休むと勉強がわからなくなることが多いです。近くの大人やオンラインの先生と、次のステージや自分のペースについて一緒に考えてみませんか。

すくサポートスタッフ  
長野 みゆきさん



学習支援に関わらせていただくのは初めてでしたが、子ども達から日々のお話を聞くのがとても楽しみになっています。意欲的に学習する姿勢を見て、楽しみながら学習することの大切さを感じています。苦手を克服した時や、思い切って挑戦した時の達成感を味わう表情を見ていると、私も嬉しくなります。“安心できる居場所”があることを知ってもらいたいと思います。

すくサポートイベント

# 「理科実験教室」 「COME 音！LET'S GO！ ～音楽は音もだち♪」

## ☀️ 「理科実験教室」

今年度はこれまで「光」と「ドライアイス」をテーマに実施しました。私たちのプログラムは、身近にあるものを使いながら、不思議な現象を楽しみ、子ども達の自由な発想、試行錯誤をサポートし、没頭する時間を大切にしています。実際の活動では、最初は緊張して言葉数が少ない子もありますが、すくさぼのスタッフの方と一緒に、「ここにいるすべての人は、お互い認め、応援しあえる仲間だ」と感じられるような場作りを行います。徐々に自分の世界に入り集中し、時には周りの人と言葉を交わしながらアレコレとやってみたい方法を何度も試します。この時の没頭している子ども達の表情が私たちにとって最高のご褒美です。一見、失敗に見える現象は、試行錯誤の証であり、成功への大切なプロセスです。だからこそ、子ども達が安心してチャレンジできる場をこれからも作っていきます。



教育支援教会北海道  
専務理事 白石 友柄様



すくサポート事業は、オンライン学習支援だけでは不足しがちな、「リアルな体験」も重視しています。学校に行っていれば経験する様な、楽しい理科実験や音楽などの芸能の授業を子ども達に届けたい！そんな課題をすくさぼらしい解決で形にしたのが、すくサポートイベントです。地域のNPO法人（教育支援協会北海道）や名乗り出て下さったピオラ奏者の方（エッシー朋子さん）からのお力添えで、子ども達に貴重な経験の機会を提供することが出来ました。全てを1つの団体がカバーする事は出来ませんが、それぞれの「特技」を活かして繋がる事が出来れば、それは大きな力になります。すくさぼは「地域子育てネット（ワーク）」をこれからも拡げていきます。

音楽の持つ力、それは【癒し】です。どんな音楽にもこの力が宿っていると信じています。この【癒し】が【成長】の基盤となり、心が癒されることで、自己理解や自信が深まり、成長を促すのだと思います。自分自身の可能性を信じ、一步を踏み出す勇気につながれば幸いです。



ピオラ奏者  
エッシー朋子様



## ☀️ 「COME 音！LET'S GO！ ～音楽は音もだち♪」

講師にヴィオラ奏者のエッシー朋子さんをお呼びし、音楽とふれあいました。参加者は「楽器を近くで見えたかった」「普段から音楽を聴くので気になって」と興味津々な様子。エッシー朋子さんは子ども達にもなじみのある曲などを生演奏。続いてリズム遊びや、2つのグループで同時に歌うパートナーソングなどで盛り上がりました。参加者は自分のおすすめの曲をみんなに紹介したり、エッシー朋子さんが実際に使用しているバイオリンを弾かせてもらうなどの貴重な体験ができました。音を通じて自分を表現する楽しさを体験できた2時間でした。



HPにて  
毎月情報  
更新中!

私たちは様々な原因で居場所や学びの機会を失っている子達に「こんな場所もあるよ!」と伝えたい。子ども達の事で思い悩んでいる保護者の方に「お話し聞くと優しく迎えてくれる場所がある事を伝えたい。そう願い発足させたのが『輪～む』です。

私たちは子どもの居場所や学びの場、相談先を可能な限り「見える化」するために参画団体の月間の活動を集約し、周知する活動をしています。この情報を多くの人に届けたいと考えています。この輪～むの取り組みが、十勝の子ども達に居場所・学びを拡げるものになる事を願っています。

☀️ 十勝子どもの居場所・学びネットワーク協議会「輪～む」参加団体 ☀️

親の会そよそよ／教育支援センターゆうゆう／心のサロンSmiley／さわやま農場／自由学舎クラムボン／すくサポート  
星槎国際高校 えみな／NPO法人地域子育てネットすくさば／とがちにじいろ／一般社団法人NORTH ReDESIGN  
はるにれの会／ふれいおん・とかち／ホッとルーム／みんなで食べようおうちごはん



☀️ 輪～む HP

←ホームページでは  
各団体の紹介やイベント情報を掲載しています。  
子どもの居場所に関するお役立ち情報も発信中!

↓ SNSでも情報発信中!



f facebook



@ Instagram

< 参画団体申込・問合せ >

代表 / 心のサロン Smiley : 佐々木 090-1385-7640 | 事務局 / 地域子育てネットすくさば : 大澤 050-8884-1098

## 『輪～む』って？

### 輪～む 執行部

代表 佐々木 祥子  
(心のサロンSmiley 代表)

執行役員 小川 洋輝  
(一般社団法人 青鳥舎 代表理事)

執行役員 佐伯 和也  
(株式会社 BASE communication 代表)

執行役員 大澤 浩介  
(特定非営利活動法人 地域子育てネットすくさば 代表理事)



私たちは様々な原因で居場所や学びの機会を失っている子達に「こんな場所もあるよ!」と伝えたい。子ども達の事で思い悩んでいる保護者の方に「お話し聞くと優しく迎えてくれる場所がある事を伝えたい。そう願い発足させたのが『輪～む』です。私たちは子どもの居場所や学びの場、相談先を可能な限り「見える化」するために参画団体の月間の活動を集約し、周知する活動をしています。この情報を必要な人に届けたいと考えています。この輪～むの取り組みが、十勝の子ども達に居場所・学びを拡げるものになる事を願っています。近年では、不登校のワクにとらわれないイベントの開催にも力を入れています。

◎『輪～む』のロゴは、一般財団法人 NORTH Re DESIGN 福島智大さんに作っていただきました。

### [参画団体]

NPO法人地域子育てネットすくさば、心のサロンSmiley、はるにれの会、ホッとルーム、自由学舎クラムボン、とかちflow、みんなで食べようおうちごはん、教育支援センターゆうゆう、とかちにじいろ、星槎国際高校えみな、認定NPO法人子どもと文化の広場ふれいおん・とかち、一般社団法人 NORTH Re DESIGN、ナチュラルファームスクール、とかちやっと、こども秘密基地BASE、青鳥舎、NOMADO CAFE

お問い合わせ : 心のサロンSmiley TEL 090-1385-7640 (代表: 佐々木)  
: とがちやっと TEL 080-4024-4345 (担当: 佐伯)



『輪～む』 参画団体の紹介&パンフレットコーナーです。とっても素敵に展示しています！

星槎高校アイドル部のみなさんです。  
楽しいステージを提供してくれました！



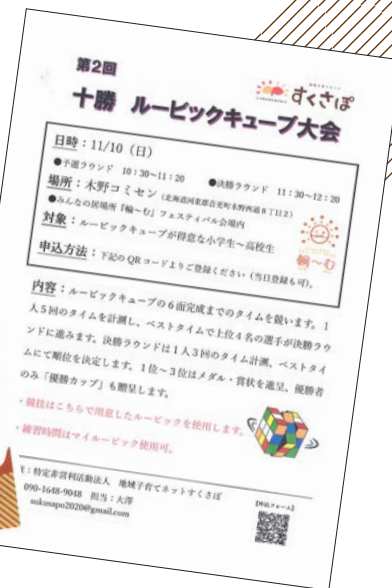
ルービックキューブで  
スコアを競います

受付付近で、くつろぐ  
『輪～む』スタッフのみなさん。  
本当にお疲れさまでした！



# 『輪～む』みんなの居場所 フェスティバル開催！

令和6年11月10日、音更町木野コミセンにて『輪～む』2回目のイベントである『輪～む』みんなの居場所フェスティバルを開催しました！来場者はなんと238名、参画団体のスタッフを合わせると約300名ほどが集う、壮大な規模で開催されました。改めて『輪～む』のネットワークの力を感じ、この繋がりを大切に活動を進めたいと思います。



# 「みんなの居場所ひので」はこんなところです！

ひのでは **5つ**の場所を  
目指しています！

1. どんな子どもでも集える場所
2. 認めてもらえる場所
3. やりたいことがある場所
4. 少し勇気を出してみる場所
5. 出会いのある場所



## スタッフ紹介



主任  
吉田 亜優

ひのでとともに、私もすくさば三年生になりました。中高生で例えれば、もう卒業ということになりそうですが、小学生ならまだ半分です。子ども達もたくましく、元気に成長している実感があり、そして私もまだまだ発展途上です。これからもよろしくお願いいたします。



児童指導員  
山口 さあや

今年度よりひのでで働くきっかけの一つとなった、この活動報告に掲載されると思うと少し不思議で嬉しいです。私が持つひのでのイメージは『時に成長に必要な勇気を引き出してくれる、懐のふかい場所』。今後もひのでが、多くの子にとって成長や学びを感じながら、心地よく過ごせる場所となることを願っています。

みんなの居場所ひのでは放課後等デイサービスの事業所として、令和4年7月に開所しました。小4～中3の子達対象の「ちょっと大人の放課後デイ」として、少しずつですが地域のみなさまに知って頂けるようになりました。主に中学卒業後の進路選択の際に、サポートをする事を目的とした活動をしています。「学習支援（学習の土台づくり）」「社会とつながるイベント」を柱に成長を実感できる環境づくりをしています。

## ひので食堂



ひので食堂も第三回を無事に終えることができました。和食、洋食、そして中華と、バラエティに富んだメニューとなっていたのではないのでしょうか？  
今回は中華にしよう、となったのは子ども達のアイデアでした。メニューやお客様の目標数、宣伝活動、動画制作...直接調理にはかかわらなくても、自分には自分なりのできることであり、

やってみたいことがありました。皆がそれぞれの得意分野で活動に参画し、よい場づくりを行うことができた一日だったと思います。  
お客様にかける言葉や、食事の提供の仕方も、子ども達の頭の中から考え出されたもの。大人が思っているよりも、子ども達は日々いろいろなことを考え、表現し、受け止め、学んでいっているのだと改めて実感しています。

森の交流館・十勝で  
実施しました！

わたしたちの取り組み

## 対面学習支援

令和6年度の学習支援は帯広市・音更町・幕別町の全小中学校の生徒にご案内プリントを配布し、58名が登録してくれました。

また、「教える側」の高校生ボランティアも過去最高の41名が登録し活気のある学習支援の場をつくる事が出来ました。

今年度から20分間くらいの「グループワーク」を取り入れました。

テーマは毎回変わります。「私の好きな食べ物」など話しやすいものから、「最近、気になる話題」などしっかり考えなくては話せないものまで様々でした。高校生と小中学生が楽しくお話する姿が印象的でした。



パソコンを使った宿題もできます！

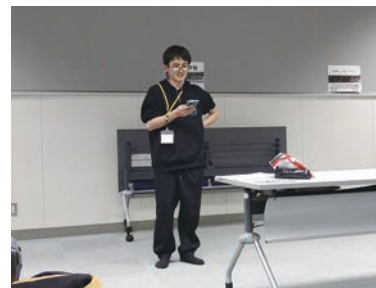
高校生以外に地域のボランティアさんもいるよ！



## ☀️ 高校生ミニ授業の風景

教員志望の高校生を中心にエントリーしてくれている「ミニ授業」。今年で3年目を迎えました。対面学習支援は小中学生の学びの場であると同時に、高校生にとっても貴重な経験の場となっています！高校生の平林くんは2回もチャレンジ、OGの倉持さん（本別農業大学校）は大学でさらに知識と経験を深めて、とても良い授業をしてくれました！大人ボランティアのみなさんもとても楽しみにしている時間です。

～平林くんのミニ授業の様子～



昨年からすくさぼに参加しています。昨年とあわせて、3回目のミニ授業を担当させて頂きました。生徒の掛け合いを想像しながら準備するのは楽しかったですし、とても良い経験になりました！ぜひ、沢山の高校生にミニ授業にチャレンジして欲しいです！

～倉持さんのミニ授業の様子～

今年は2回目のチャレンジになりました。農業大学校で酪農に関する知識が深くなったので、すくさぼの小中学生に少しでも分かりやすく伝えたいと思ってミニ授業をしました。今後も何らかの形で小中学生や高校生に「酪農の魅力」を伝えていけたらと考えています！



わたしたちの取り組み

## 地域交流イベント 収穫祭

令和6年10月12日(土)、恒例の「すくさぼ収穫祭」を行いました！  
 コロナ禍から始めたために「テイクアウト」で実施していましたが、今回はついに念願の「イートインスペース」を設けて、お客様にその場で食べて頂きました！やはりその場で食べてもらい「美味しかったよ！」と喜んで頂けることは、子ども達や大人スタッフもとても嬉しかった様です。



目的

- 子ども達の自主性と協調性を楽しみながら育てる
- 地域のイベントを開催することで様々な年代の方々と接する機会を得る
- 運営＝ビジネスの縮小版として将来の就業イメージをつかみ経済活動にチャレンジしながら社会貢献の精神を学ぶ

### ☀️ ありがとうポイント 01

地域の方に沢山の野菜を分けて頂いています！

コロナ禍で開催を始めたこの企画ですが、その頃から農家の方に野菜を分けて頂いています。今年はいつものジャガイモの他に「大きなズッキーニ」も頂きました！



### ☀️ ありがとうポイント 02

今年から高校生がボランティアに参加してくれています！

今年度から学習支援ボランティアの高校生が、収穫祭にも参加してくれています。小中学生も心強く思っていたようです。頼れるお兄さん、お姉さんっていいですね。



### ☀️ ありがとうポイント 03

地域の方がカレーライスを買いに来てくださいます！

SNSなどで収穫祭のアピールをしています。子ども達の活躍を見に来てくださり、温かいお声をかけてくださいました。



# 🌞 感謝式 プラザ六中にて

一年のしめくり、毎年恒例の「すくさぽ感謝式」が令和7年3月8日(土)に市民活動プラザ六中にて行われました。今年は過去最大の参加人数となり、盛大で子ども達の成長を感じられる素敵な式となりました。今年の小学生代表、増田月陽さんのあいさつがとても立派で「すくさぽの1年の活動」が良く表現されていたので、全文を掲載させていただきます！



表彰状を手に…

「イラストで言葉あて」ゲームで楽しみました！



この活動を支えて、  
くださったみなさん、  
ありがとうございます！



小学生代表

増田 月陽さん あいさつ文 (全文)

私は、このすくさぽに参加して今年で2年目になります。今年もとても楽しく参加することができました。

自分で家で勉強することが苦手な私にとって「すくさぽ」はわからないところを高校生が教えてくれたり、友達と勉強することができるとても楽しい場所です。そして、新しい友達ができてとても楽しかったです。

収穫祭でのカレー販売にも友達と参加しました。私は受付とお会計の係で、お客さんから注文を取ったりお釣りを渡したりなどをしました。大変なこともあったけど、とても勉強になったし楽しかったです。そしてカレーはとても美味しかったので、来たお客さんに喜んでもらうことができて嬉しかったです。

それ以外にも、クリスマス会などのお楽しみでみんなでクイズをしたり、高校生のミニ授業では、いつもの学校では習わない授業や数字あそびを体験できたのでとても良い思い出になりました。まだまだたくさんの思い出がありますが、みんなと活動できたことが自分の大切な思い出になりました。

最後に、代表の大澤さん、大人のボランティアの皆さん、教えてくれた高校生の皆さん、一緒に勉強してくれた皆さん、とても感謝しています。ありがとうございました。

## 感謝式あいさつ



進学しても  
頑張ります

高校生代表  
前田 奏翔さん



来年もまた  
参加したいです！

中学生代表  
竹澤 千春さん



ボランティア米野さん表彰

## message

# 応援してくださっているみなさま

地域子育てネットすくさぼの運営は、企業や行政をはじめとした様々なみなさまのご寄付（会費）や関わりによって支えられています。また、学習支援や地域イベントはたくさんの地域のボランティアさん、高校生のみなさんに支えられて進めることが出来ました。会員やボランティアは、子ども達がいかなる状況でも学ぶ事ができる環境づくりをともに進める仲間です。



株式会社千葉建設  
代表取締役 高橋 拓真

「全ての子どもに」という思いに共感しております。見学に伺った際、賑やかな環境で楽しそうに勉強する子ども達の姿を見て、こういった温かい居場所作りをもっと広げていただきたいし、是非企業として応援したいと素直に感じました。子どもの大切な時期にこのような居場所があるのは、地域にとってかけがえのないことだと思います。



池田建設工業株式会社  
代表取締役 池田 圭輔

すくさぼさんの活動をいつも拝見しております。私がいつも感じているのは、子ども達の「笑顔」がたくさんある温かい場所だということです。子ども達の可能性は無限大です。すくさぼさんが子ども達にとって、かけがえのない「安心できる居場所」として、そして大人も子どもも成長できる居場所であることを期待しています。これからも応援しています。

## マンスリーサポーターのみなさま

### 毛利 諒子さん

学生時代は学生同士の互助団体に所属し、学年や学科の壁を飛び越え授業や学生生活のサポートをしていました。この活動を通じて人とのつながりの大切さを学びました。現在もこの経験を活かし技術職員として学生の支援をしています。自分にできる支援は微力ではありますが、皆様の未来がより良いものとなることを心より願っています。

### 大林 さおりさん

体調不良をきっかけに不登校となり、娘も私も困っていた時、すくさぼオンライン授業と出会いました。学習よりも講師の先生に会うことが楽しみで学校に行けるようになり、それがきっかけで、今では積極的に登校できるようになりました。すくさぼさんの活動が、それを必要としている子ども達に届きますように…。そんな思いで、これからも応援させていただきます。

### 笹川 由香里さん

私は、子どもがお世話になっている「みんなの居場所ひので」を通じて、「すくさぼ」の活動を知りました。「ひので」にお世話になると決めたのは代表の大澤先生の子供達への向き合い方やお考えを聞いて、子どもにとって安心できる居場所になると思えたからです。学びの根っこである学習、そして人との関わり、自分自身の特性等、つまづきや生きにくさを抱えている子ども達をみんなで見守りサポートしたいという気持ちが、「すくさぼ」の先生方や活動には沢山詰まっていると感じます。これからも親としてマンスリーサポーターとして「すくさぼ」の活動を応援していきます！

# message

すくさぼの活動には、多くのスタッフやボランティアさんたちの力が欠かせません。  
学習支援をはじめ、子ども達を見守り支えてくれるサポートメンバーからのメッセージです。



齋藤 和香奈さん(すくサポート清水スタッフ)

初めての経験となるお仕事なので不慣れな部分も沢山ありますが、子ども達の笑顔とげんきに励まされています！楽しく、安心できるような居場所を提供できたらいいな、と思っています。よろしくお祈りします(^ ^)



林 瑛介さん(すくサポート帯広スタッフ)

現代社会に必要とされている「子どもの居場所づくり」という活動に携わることができて、とても光栄です。子どもとの距離感を大切にしながら、若さを生かして関わっていただけたらと思っています。教える立場だと思っておりましたが、子ども達に新たな世界を教えてもらう日々で、自分も一緒に成長していきたいです。



石岡 夢さん(帯広緑陽高校)

子どものことが好きで関わることができたらと思い参加しました。すくさぼでの活動では、勉強の手助けをすることももちろん、対話や触れ合うことの活動そのものが子ども達の大切な居場所になっているということが、私にとって大きな気づきになりました。今後もすくさぼボランティアを通じて自分自身成長していきたいです！



山越 芽依さん(帯広三条高校)

すくさぼに参加したきっかけは、将来教師になる為に、子どもと接する機会を増やしたいと思ったからです。教える事が難しい部分もあったけど、子ども達が理解してくれたときの笑顔を見ると、とても嬉しく、やりがいを感じました。すくさぼは自分にとって貴重な経験になりました。これからも続けていきたいなと思っています！



葛西 いこいさん(帯広柏葉高校)

高校に入学してすぐ、学校で配られたチラシを見て勇気を出して参加しました。始めは子ども達に話しかけることが苦手でしたが、だんだん自分から声をかけられるようになり、成長を感じられたので参加して本当に良かったと思っています。教育学に興味があるので大学でも活かせるよう、より多くのことをここで学んでいきたいです！



徳山 碧さん(白樺学園高校)

中学からすくさぼに参加していて、今までは勉強を教えてもらう側として参加していましたが高校生になり勉強を教える側になってみて、自分では理解出来てもどう教えたらいいか、問題自体が分からなかったりと教える側って難しいんだなと思いました。小中学生とは歳が近い分話しやすく勉強以外でも沢山楽しいと思えることがありました。ありがとうございました！！

## 理念

# 学びの根っこをみんなで育てる

- 全ての子が学べる環境を創ります。
- 全ての子が安心できる環境を創ります。
- 地域資源を活かし多様な学びの機会を創ります。

私たちはこれらを柱に、子どもの学びを中心にした  
コミュニティづくりを進めてまいります。



—  
詳細は  
こちらから  
—

【ご寄付・ご支援いただいた企業・団体の皆さま】



【助成金】



公益財団法人  
コープさっぽろ社会福祉基金